118

A

◎ 指示があるまで開かないこと。

（令和７年２月１日　９時 45 分 ～ 12 時 00 分）

注　意　事　項

1. 試験問題の数は 90 問で解答時間は正味２時間 15 分である。

2. 解答方法は次のとおりである。

⑴ （例１）の問題では a から e までの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を１つ選び答案用紙に記入すること。なお、（例１）の質問には２つ以上解答した場合は誤りとする。

（例１）**201**　歯科医師免許を付与するのはどれか。１つ選べ。

a　保健所長

b　厚生労働大臣

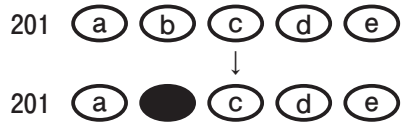
c　地方厚生局長

d　都道府県知事

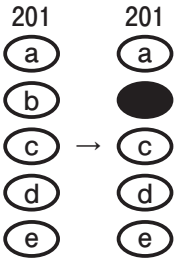
e　内閣総理大臣

（例１）の正解は「ｂ」であるから答案用紙の (b) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、



答案用紙②の場合、

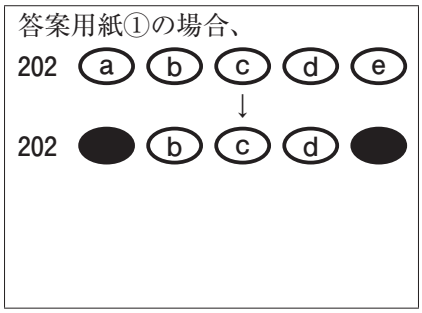


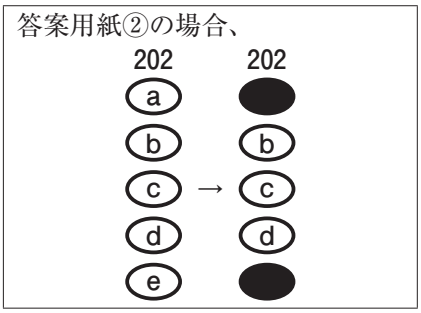
⑵ （例２）の問題ではａからｅまでの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を２つ選び答案用紙に記入すること。なお、（例２）の質問には１つ又は３つ以上解答した場合は誤りとする。

（例２）**202**　歯科医籍訂正の申請が必要なのはどれか。**２つ選べ**。

ａ　氏名変更時
ｂ　勤務先変更時
ｃ　住所地変更時
ｄ　診療所開設時
ｅ　本籍地都道府県変更時

（例２）の正解は「ａ」と「ｅ」であるから答案用紙のⓐとⓔをマークすればよい。



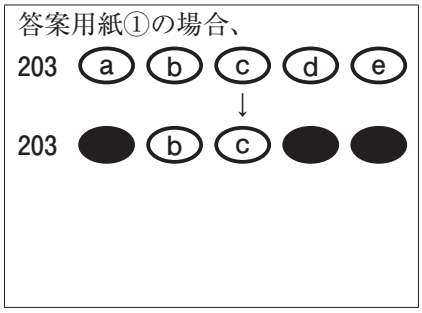


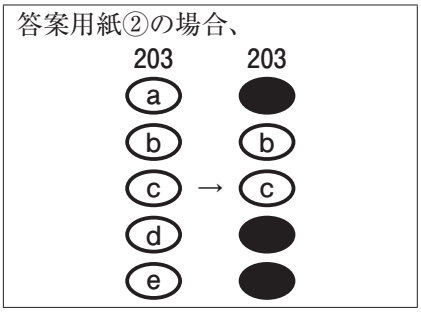
⑶ （例３）の問題ではａからｅまでの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を３つ選び答案用紙に記入すること。なお、（例３）の質問には２つ以下又は４つ以上解答した場合は誤りとする。

（例３）**203**　歯科医籍の登録事項はどれか。**３つ選べ**。

ａ　氏　名
ｂ　勤務先
ｃ　住所地
ｄ　生年月日
ｅ　本籍地都道府県

（例３）の正解は「ａ」と「ｄ」と「ｅ」であるから答案用紙のⓐとⓓとⓔをマークすればよい。



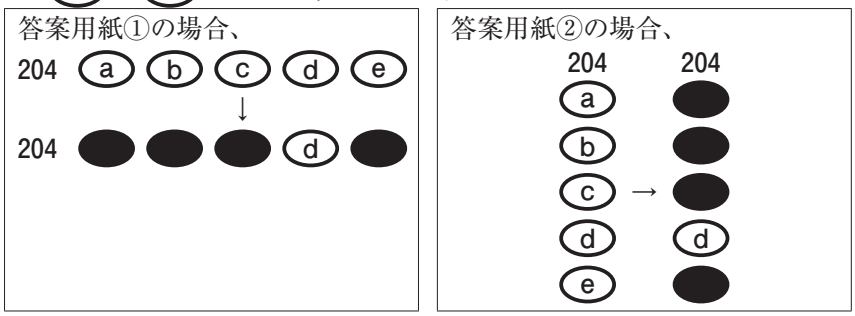


(4) (例４)の問題ではａからｅまでの５つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を４つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例４)の質問には３つ以下又は５つ解答した場合は誤りとする。

(例４) **204** 医療法に基づき広告可能な診療科名はどれか。**４つ選べ**。

ａ 歯　科
ｂ 矯正歯科
ｃ 小児歯科
ｄ 審美歯科
ｅ 歯科口腔外科

(例４)の正解は「ａ」と「ｂ」と「ｃ」と「ｅ」であるから答案用紙のⓐとⓑとⓒとⓔをマークすればよい。



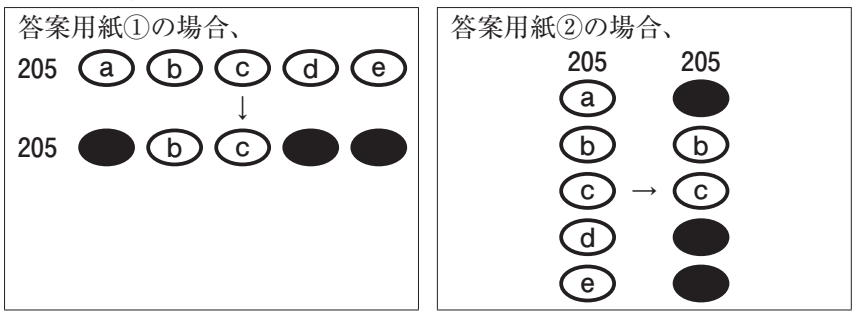
(5) (例５)の問題では問題ごとに正答数が異なるので、それぞれに適した選択肢をすべて選び答案用紙に記入すること。

例えば、質問に適した選択肢の数が３つである場合は、２つ以下又は４つ以上解答した場合は誤りとする。

(例５) **205** 医療法に基づく医療計画の対象となる疾病はどれか。**すべて選べ**。

ａ が　ん
ｂ 肺　炎
ｃ 肝疾患
ｄ 脳卒中
ｅ 精神疾患

(例５)の正解は「ａ」と「ｄ」と「ｅ」であるから答案用紙のⓐとⓓとⓔをマークすればよい。

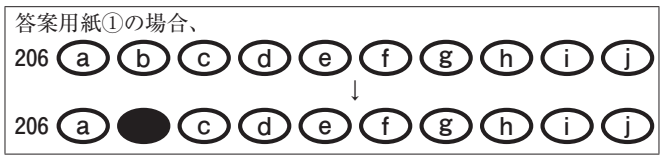


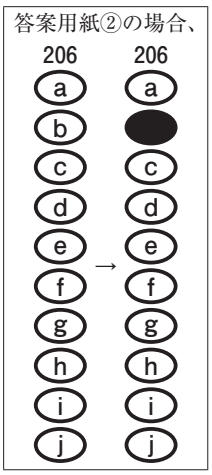
⑹　選択肢が６つ以上ある問題については質問に適した選択肢を１つ選び答案用紙に記入すること。なお、（例６）の質問には２つ以上解答した場合は誤りとする。

（例６）**206**　令和４年医師・歯科医師・薬剤師統計で人口10万人当たりの歯科医師数が最も少ないのはどれか。１つ選べ。

a　北海道
b　青森県
c　茨城県
d　埼玉県
e　滋賀県
f　和歌山県
g　鳥取県
h　徳島県
i　佐賀県
j　沖縄県

（例６）の正解は「ｂ」であるから答案用紙の (b) をマークすればよい。





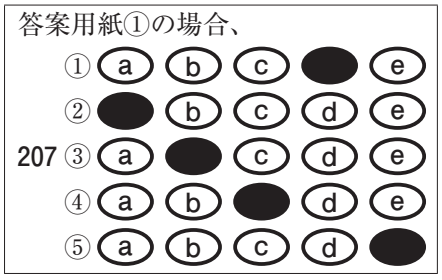
(7) 順序問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な選択肢をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例7)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合や同じ選択肢を複数回使用した場合は誤りとする。

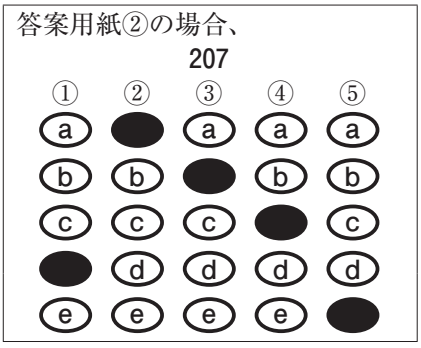
(例7) **207** これから地域歯科保健活動を実施する予定である。
活動内容を実施の順番に並べよ。

解答：①→②→③→④→⑤

a 解 析
b 計 画
c 実 施
d 調 査
e 評 価

(例7)の正解は①が「d」、②が「a」、③が「b」、④が「c」、⑤が「e」であるから①は答案用紙のdを、②はaを、③はbを、④はcを、⑤はeをそれぞれマークすればよい。





(8) 計算問題については、□に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例8)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例8) **208** 中学校1年生100名の学校歯科健康診断の集計結果を表に示す。

記号(歯式)	計(歯数)
／	2,430
C	40
CO	35
○	75
△	70

DMF歯率を求めよ。

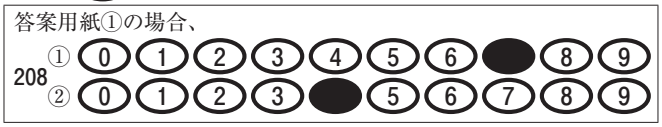
ただし、小数点以下第2位を四捨五入すること。

解答：①. ② %

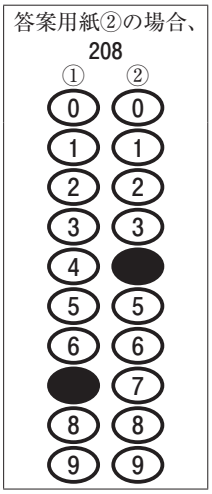
①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

（例８）の正解は ① が「７」、 ② が「４」であるから①は答案用紙の (7) を、
②は (4) をそれぞれマークすればよい。

答案用紙①の場合、



答案用紙②の場合、



1 医療安全支援センターについて正しいのはどれか。1つ選べ。

a　医療事故の報告先である。

b　根拠法は地域保健法である。

c　医療安全管理者が配置される。

d　地域医療支援病院に設置する。

e　医療に関する患者からの相談に対応する。

2 IFN-γを産生してマクロファージを活性化するのはどれか。1つ選べ。

a　形質細胞

b　Th1 細胞

c　Th2 細胞

d　Th17 細胞

e　制御性 T 細胞

3 骨格性下顎前突の特徴はどれか。1つ選べ。

a　鋏状咬合

b　上顎前歯の舌側傾斜

c　上顎臼歯の頬側傾斜

d　下顎前歯の唇側傾斜

e　コンベックスタイプの側貌

4 栄養状態の指標となるのはどれか。**2つ選べ**。

a SGA

b MNA

c MMSE

d HDS-R

e MoCA〈Montreal Cognitive Assessment〉

5 治療薬物モニタリング〈TDM〉の対象になる薬物の特徴はどれか。1つ選べ。

a 狭い治療域

b 短い半減期

c 血液脳関門の低い通過性

d 血漿タンパクとの低い結合率

e 高いバイオアベイラビリティ

6 肝硬変でみられるのはどれか。1つ選べ。

a 血小板数増加

b 白血球数増加

c アルブミン低下

d 総ビリルビン低下

e プロトロンビン時間短縮

7　顎関節部 MRI(**別冊**No. **1**)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

a　咬　筋

b　側頭筋

c　関節円板

d　外側翼突筋

e　関節円板後部組織

別　冊
No. **1**

8　甲状舌管嚢胞の発生原因はどれか。1つ選べ。

a　遺　残

b　異常癒合

c　過剰発育

d　発育抑制

e　癒合不全

9　シスプラチンで生じやすいのはどれか。1つ選べ。

a　口　渇

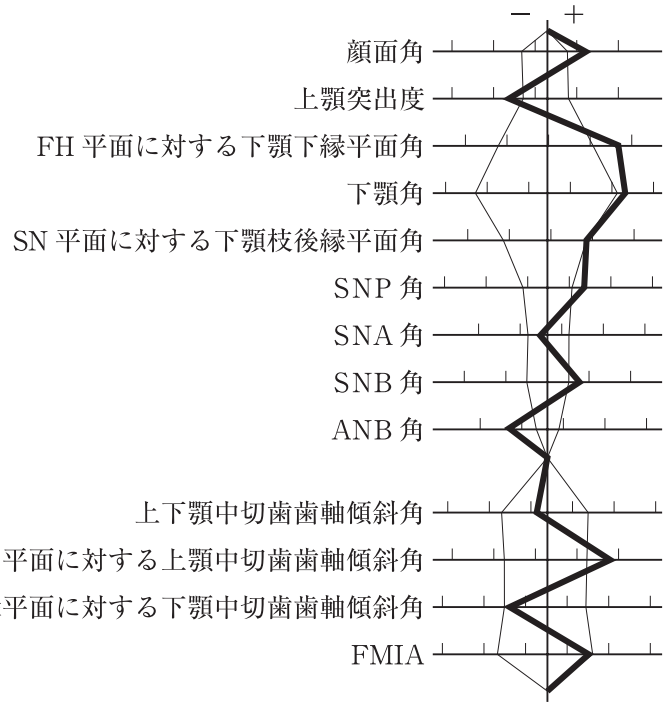
b　顎骨壊死

c　歯肉肥大

d　血管性浮腫

e　口腔粘膜炎

10　セファロ分析の結果を図に示す。



正しい所見はどれか。1つ選べ。

a　ハイアングル

b　上顎骨の前方位

c　下顎骨の後方位

d　上顎中切歯の舌側傾斜

e　下顎中切歯の唇側傾斜

11 急性化膿性根尖性歯周炎骨内期(第2期)の根管治療の目的はどれか。1つ選べ。

a　感染源の除去

b　排膿路の確保

c　感染経路の遮断

d　咬合力の負担軽減

e　アピカルシートの形成

12 国際生活機能分類〈ICF〉の構成要素はどれか。1つ選べ。

a　参　加

b　障　壁

c　能力障害

d　社会的不利

e　日常生活動作

13 人を対象とする医学研究の倫理を示したのはどれか。**2つ選べ**。

a　シドニー宣言

b　ジュネーブ宣言

c　ヘルシンキ宣言

d　ニュルンベルグ綱領

e　ヒポクラテスの誓い

14　矯正歯科治療に用いる器具の写真(**別冊**No. **2**)を別に示す。

レクタンギュラーワイヤーの屈曲に用いるのはどれか。１つ選べ。

a　ア

b　イ

c　ウ

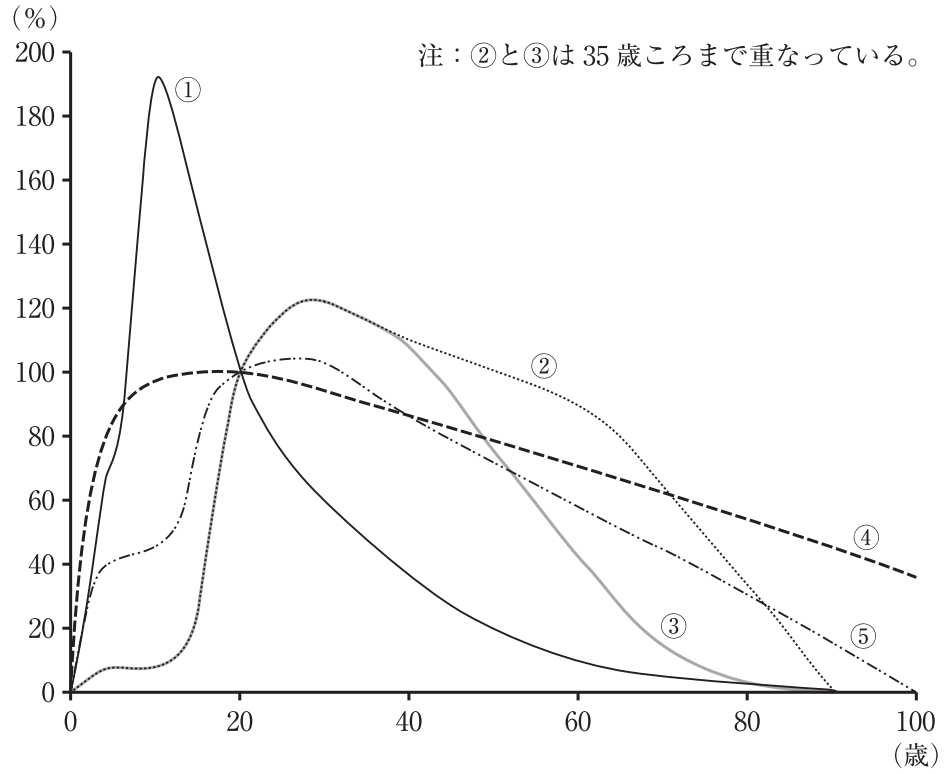
d　エ

e　オ

別　冊

No. **2**

15　20 歳時を基準とした成長・老化の割合を図に示す。



④で示すのはどれか。1 つ選べ。

ただし、①～⑤は a ～ e のいずれかに該当する。

a　一般型

b　神経型

c　リンパ型

d　生殖型（男）

e　生殖型（女）

16 大脳皮質の Broca 領域の脳梗塞で発症するのはどれか。1 つ選べ。

a　伝導失語

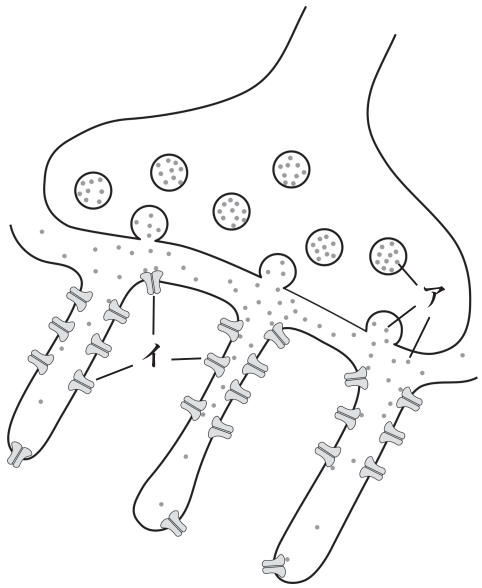
b　運動性失語

c　感覚性失語

d　器質性構音障害

e　運動障害性構音障害

17 神経筋接合部の模式図を示す。



アが結合して活性化されるイはどれか。1 つ選べ。

a　リアノジン受容体

b　アドレナリン α_1 受容体

c　電位依存性 Na^+チャネル

d　電位依存性 Ca^{2+}チャネル

e　ニコチン性アセチルコリン受容体

18 快適な職場環境の形成のための措置を規定しているのはどれか。1つ選べ。

a　健康増進法

b　労働基準法

c　作業環境測定法

d　労働安全衛生法

e　労働者災害補償保険法

19 Heimlich 法が適応となるのはどれか。1つ選べ。

a　徐　脈

b　過呼吸

c　気道異物

d　けいれん

e　舌根沈下

20 女性に好発するのはどれか。1つ選べ。

a　血友病

b　白板症

c　類天疱瘡

d　動脈硬化症

e　Warthin 腫瘍

21　21 歳の男性。下顎右側智歯部の疼痛と腫脹を主訴として来院した。3 日前から右側顎下部に腫脹が出現し、徐々に拡大し嚥下痛が強くなり、飲水ができないという。体温は 37.8℃、腫脹部は弾性硬で、開口量は 20 mm、呼吸障害は認めない。初診時の顔貌写真(**別冊**No. **3A**)、口腔内写真(**別冊**No. **3B**)、エックス線画像(**別冊**No. **3C**)及び造影 CT(**別冊**No. **3D**)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。**2 つ選べ**。

a　輸　液

b　開口訓練

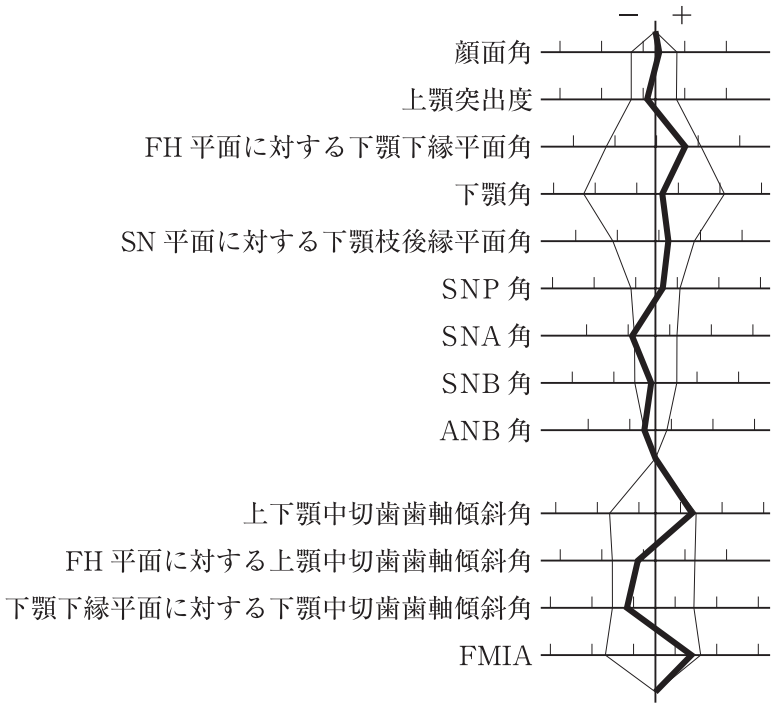
c　原因歯の抜去

d　抗菌薬の投与

e　顎下部の切開排膿

別　冊
No. **3**　**A**、**B**、**C**、**D**

22　21 歳の女性。前歯の咬み合わせが悪いことを主訴として来院した。診断の結果、上顎両側第二小臼歯を抜去後、マルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を行うこととした。初診時の顔面写真(**別冊**No. **4A**)、口腔内写真(**別冊**No. **4B**)及びエックス線画像(**別冊**No. **4C**)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



上顎のマルチブラケット装置と併用する適切な矯正装置はどれか。1 つ選べ。

a　急速拡大装置

b　上顎前方牽引装置

c　クワドヘリックス装置

d　サービカルヘッドギア

e　Nance のホールディングアーチ

別　冊

No. **4　A、B、C**

23　舌咽神経の働きはどれか。**2 つ選べ**。

a　舌の運動

b　酸素分圧の感知

c　食道の蠕動運動

d　有郭乳頭の味覚

e　顎下腺の唾液分泌

24　コンポジットレジン修復を行うこととした。窩洞形成前後の口腔内写真(**別冊** No. **5**)を別に示す。

窩洞形成で配慮した事項はどれか。1 つ選べ。

a　審美性

b　窩縁斜面の付与

c　円滑な曲線の付与

d　遊離エナメル質の除去

e　リバースカーブの付与

別　冊
No. **5**

25　35歳の女性。就寝時の歯ぎしりを主訴として来院した。診察の結果、ある装置を就寝時に装着することとした。装置装着前の口腔内写真(**別冊**No. **6A**)と装着時の口腔内写真(**別冊**No. **6B**)を別に示す。

この装置で防止できるのはどれか。**2つ選べ**。

a　齲　蝕

b　歯の圧下

c　歯の咬耗

d　クラウンの破折

e　プラークの付着

別　冊
No. **6　A、B**

26　直接覆髄法と生活断髄法で共通して行うのはどれか。**2つ選べ**。

a　圧迫止血

b　歯髄の切断

c　天蓋の除去

d　感染歯質の除去

e　次亜塩素酸ナトリウムでの洗浄

27　日本人の食事摂取基準(2020年版)で、高齢者のビタミンDの摂取目安量を定めることで予防を図るのはどれか。1つ選べ。

a　脚　気

b　骨　折

c　夜盲症

d　慢性腎臓病

e　サルコペニア

28 成人の待機的全身麻酔下手術において、水(清澄水)の術前絶飲時間で推奨されているのはどれか。1つ選べ。

a　30分

b　2時間

c　6時間

d　12時間

e　24時間

29 腎機能の低下で低値を示すのはどれか。1つ選べ。

a　血　圧

b　尿　酸

c　尿素窒素

d　血清カリウム

e　クレアチニンクリアランス

30　80歳の女性。上顎右側歯肉の腫脹を主訴として来院した。2か月前から徐々に増大してきたという。15年前に脳梗塞を発症し、10年前から関節リウマチと骨粗鬆症で投薬を受けている。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **7A**)、エックス線画像(**別冊**No. **7B**)、造影CT(**別冊**No. **7C**)、FDG-PET/CT(**別冊**No. **7D**)及び生検時のH-E染色病理組織像(**別冊**No. **7E**)を別に示す。

病変の誘因と考えられるのはどれか。1つ選べ。

a　ニフェジピン

b　メトトレキサート

c　ワルファリンカリウム

d　ジクロフェナクナトリウム

e　アレンドロン酸ナトリウム水和物

別　冊

No. **7　A、B、C、D、E**

31　インプラント用アバットメント材料であるジルコニアとチタンの物性で、チタンが大きな値を示すのはどれか。**2つ選べ**。

a　硬　さ

b　靱　性

c　密　度

d　弾性係数

e　熱伝導率

32　下顎左側第一大臼歯の口腔内写真(**別冊**No. **8A**)とエックス線画像(**別冊**No. **8B**)を別に示す。

治療方針で適切なのはどれか。**2つ選べ**。

a　GTR 法

b　歯根分離

c　トンネリング

d　FGF-2 製剤の応用

e　ファーケーションプラスティ

別　冊
No. **8**　**A**、**B**

33　80 歳の女性。下顎歯肉癌切除後に食事がしにくいことを主訴として来院した。診察の結果、下顎右側は皮弁によって再建され、舌の可動域は制限されていた。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **9A**)と、ある操作を実施した上顎全部床義歯の写真(**別冊**No. **9B**)を別に示す。

この操作によって改善が期待できる障害はどれか。**2つ選べ**。

a　嚥　下

b　開　口

c　構　音

d　審　美

e　味　覚

別　冊
No. **9**　**A**、**B**

34　フェイスボウを用いて半調節性咬合器に装着した研究用模型から得られる情報はどれか。**2 つ選べ**。

a　安静空隙

b　Bennett 運動

c　習慣性開閉口運動路

d　偏心運動時のガイド

e　舌側から見た咬合接触状態

35　歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療に必要な診療情報と検査の組合せで正しいのはどれか。**4 つ選べ**。

a　根管数 ―――――――― 歯科用コーンビーム CT

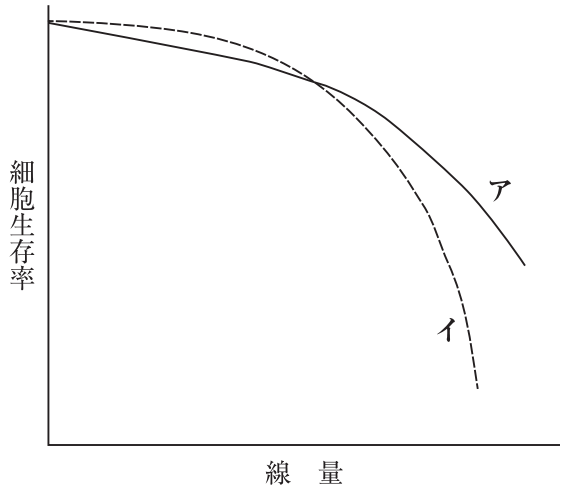
b　咀嚼時痛 ―――――――― 楔応力検査

c　持続性疼痛 ―――――――― 温度診

d　疼痛原因部位 ―――――――― 麻酔診

e　フェネストレーション ―――― 偏心投影法

36　放射線量と細胞生存率曲線を図に示す。



アのタイプの反応を示すのはどれか。**2 つ選べ**。

a　肺

b　骨　髄

c　脊　髄

d　粘　膜

e　唾液腺

37　80歳の男性。右側下顎体部の腫脹と疼痛を主訴として来院した。5日前に硬固物を咀嚼した後から腫脹と右側オトガイ神経麻痺を認めたという。頸部に腫大したリンパ節は触れない。初診時の顔貌写真(**別冊**No. **10A**)、口腔内写真(**別冊**No. **10B**)、エックス線画像(**別冊**No. **10C**)、造影CT(**別冊**No. **10D**)、MRI脂肪抑制T2強調像(**別冊**No. **10E**)及び生検時のH-E染色病理組織像(**別冊**No. **10F**)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

a　骨肉腫

b　腺様嚢胞癌

c　扁平上皮癌

d　悪性リンパ腫

e　多発性骨髄腫

別　冊
No. **10**　**A**、**B**、**C**、**D**、**E**、**F**

38　学校歯科健康診断におけるGOで正しい組合せはどれか。1つ選べ。

	歯肉炎	歯石の沈着	定期的な観察
a	なし	なし	不要
b	なし	なし	必要
c	あり	なし	不要
d	あり	なし	必要
e	あり	あり	必要

39 左側舌縁部に 18 × 15 mm の病変を認め、厚さは 8 mm、深達度は 4 mm であった。生検の結果、扁平上皮癌と診断した。画像検査で所属リンパ節〈領域リンパ節〉と他臓器への転移は認めない。

TNM 分類(UICC 2017)における stage 分類はどれか。1 つ選べ。

a　Stage Ⅰ

b　Stage Ⅱ

c　Stage Ⅲ

d　Stage ⅣA

e　Stage ⅣB

40 日本で経口投与されるワクチンはどれか。1 つ選べ。

a　水　痘

b　風　疹

c　麻　疹

d　日本脳炎

e　ロタウイルス

41 口唇粘膜への触刺激の情報を統合し、触覚を生み出すのはどれか。1 つ選べ。

a　三叉神経節

b　Meissner 小体

c　三叉神経主感覚核

d　視床後内側腹側核

e　大脳皮質一次体性感覚野

42 歯肉のマッサージ効果が高いブラッシング法はどれか。**3 つ選べ**。

a　バス法

b　フォーンズ法

c　チャーターズ法

d　スクラッビング法

e　スティルマン改良法

43 部分床義歯の構成要素で二次固定が得られるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　パラタルバー

b　リンガルバー

c　Kennedy バー

d　パラタルプレート

e　リンガルプレート

44 国民医療費に含まれるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　医療扶助

b　健康診断

c　正常分娩

d　薬局調剤

e　予防接種

45　76 歳の女性。口や鼻から飲み物が漏れることを主訴として脳神経内科からの紹介で来院した。1 年前に脳梗塞の診断を受けている。現在普通食を 20 分以内で全量摂取しており、咀嚼時の疲労感はなく、むせることはないが、飲水時に口や鼻から漏れることがあるという。口腔機能時の顔面写真(**別冊**No. **11A**)、口腔機能時の口腔内写真(**別冊**No. **11B**)及び液体の嚥下を記録した嚥下造影検査画像(**別冊**No. **11C**)を別に示す。

主訴に影響を与えていると考えられるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　咬　筋
b　口輪筋
c　口蓋帆挙筋
d　オトガイ舌筋
e　後輪状披裂筋

別　冊
No. **11**　**A**、**B**、**C**

46　ランパントカリエスは、(　①　)かつ広範囲に齲蝕が形成され、通常、齲蝕になりにくい(　②　)にも発生する。

(　　)に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1 つ選べ。

	①	②
a	緩　徐	上顎前歯
b	緩　徐	下顎前歯
c	急　速	上顎前歯
d	急　速	上顎臼歯
e	急　速	下顎前歯

47 頸静脈孔を通過する神経の損傷によって生じるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　嗄　声

b　嚥下障害

c　開口障害

d　咀嚼障害

e　舌前方 2/3 の知覚障害

48 移植片対宿主病〈GVHD〉患者にみられる口腔症状はどれか。**2 つ選べ**。

a　口腔乾燥

b　上皮下水疱

c　穿掘性潰瘍

d　メラニン沈着

e　扁平苔癬様病変〈口腔苔癬様病変〉

49 無痛性の開口障害を生じるのはどれか。**3 つ選べ**。

a　顎関節強直症

b　筋突起過長症

c　顎関節リウマチ

d　進行性下顎頭吸収

e　咀嚼筋腱・腱膜過形成症

次の文により 50、51 の問いに答えよ。

70 歳の男性。下顎部分床義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、義歯を製作することとした。作業用模型上の頬側歯槽部で検査中の写真（**別冊**No. **12A**）と検査に使用する器具の写真（**別冊**No. **12B**）を別に示す。

別　冊
No. **12　A、B**

50　A の操作で決定するのはどれか。**2 つ選べ**。

a　鉤腕の走行
b　鉤尖部の位置
c　隣接面板の幅
d　ビーディングの部位
e　アンダーカットの領域

51　A の操作直後に使用するのはどれか。1 つ選べ。

a　ア
b　イ
c　ウ
d　エ
e　オ

52　12歳の男児。歯の変色を主訴として来院した。萌出時は問題なかったが、次第に気になってきたという。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **13**)を別に示す。

変色の原因特定のために確認するのはどれか。1つ選べ。

a　外傷の既往

b　離乳の時期

c　口呼吸の有無

d　常用薬の有無

e　摂取飲料の嗜好

別　冊
No. **13**

53　高齢者の転倒で骨折頻度が最も高いのはどれか。1つ選べ。

a　鼻　骨

b　下顎骨

c　肩甲骨

d　大腿骨

e　尾　骨

54　片側性唇顎口蓋裂の裂隙閉鎖後に生じやすいのはどれか。**3つ選べ**。

a　浅い口蓋

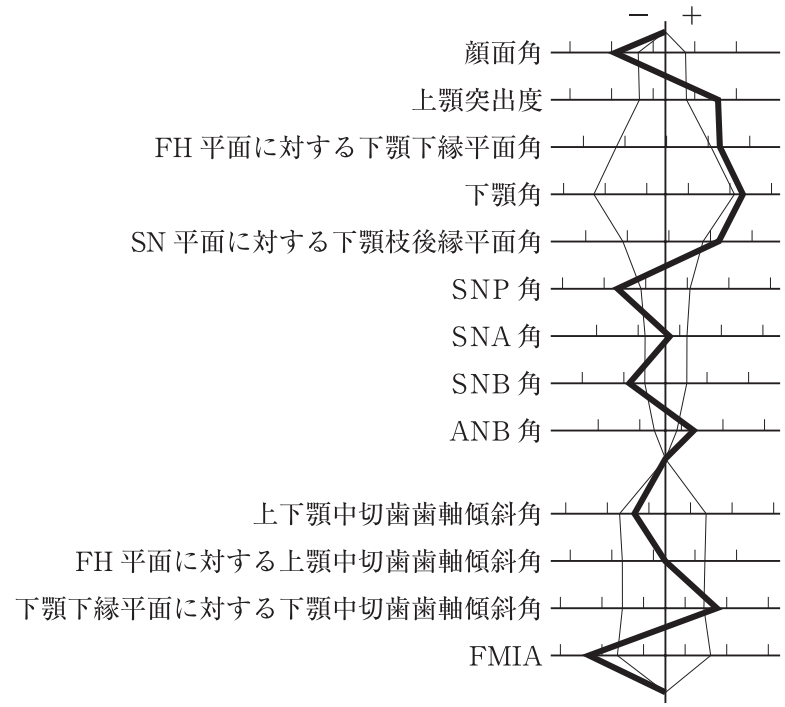
b　上顎骨の過成長

c　上顎切歯の舌側傾斜

d　上顎歯列弓幅径の開大

e　上下顎歯列正中線の不一致

55　16歳の女子。顔の歪みを主訴として来院した。出生時に先天性疾患の診断を受けている。⌊2⌋、⌈5⌉に欠如歯を認める。Arch length discrepancyは上顎－5 mm、下顎－2 mmであった。重度の顔面非対称と診断し、外科的矯正治療を行うこととした。上顎はLe Fort I型骨切り術で咬合平面の傾きを是正し、下顎は右側に下顎枝矢状分割術、左側に骨延長術を行う予定とした。初診時の顔面写真(**別冊**No. **14 A**)、口腔内写真(**別冊**No. **14 B**)及び3D-CT(**別冊**No. **14 C**)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



術前矯正治療で行うのはどれか。**2つ選べ**。

a　下顎右側臼歯の挺出
b　下顎左側臼歯の頬側傾斜
c　上顎右側臼歯の舌側傾斜
d　非抜歯による歯列のレベリング
e　⌊4⌋、⌈5⌉の抜歯による歯列のレベリング

別　冊
No. **14**　**A**、**B**、**C**

56 小児の歯科治療時の行動分類(Frankl の分類)で 2 度はどれか。**2 つ選べ**。

a　拒　否

b　号　泣

c　慎　重

d　躊　躇

e　不協力

57 乳歯外傷の特徴はどれか。**2 つ選べ**。

a　受傷原因は衝突が最も多い。

b　受傷年齢は 1 ～ 3 歳に多い。

c　受傷頻度に性差はみられない。

d　受傷様式は脱臼より破折が多い。

e　受傷部位は上顎乳中切歯が最も多い。

58 矯正歯科治療中の口腔内写真(**別冊**No. **15**)を別に示す。

上顎右側犬歯根尖部の歯周組織に生じる生体反応の組合せで正しいのはどれか。

2 つ選べ。

a　近心側 ―――― 血流の亢進

b　近心側 ―――― 破骨細胞の活性化

c　遠心側 ―――― 歯根膜の硝子化

d　遠心側 ―――― マクロファージの出現

e　遠心側 ―――― セメント芽細胞の活性化

別　冊

No. **15**

59　頸動脈三角に存在するのはどれか。**3 つ選べ**。

a　舌動脈

b　外頸静脈

c　頸動脈洞

d　上喉頭神経

e　顎下リンパ節

60　23 歳の女性。下顎右側智歯周囲歯肉の自発痛を主訴として来院した。診察の結果、$\overline{8|}$の抜歯を行うこととした。アドレナリン含有 2 %リドカイン塩酸塩で浸潤麻酔を行ったところ次第に意識レベルが低下した。このときの手指の写真(**別冊** No. **16**)を別に示す。

意識レベル低下の原因はどれか。1 つ選べ。

a　脳血管収縮

b　脈拍数減少

c　心拍出量減少

d　血管透過性亢進

e　副交感神経活動の亢進

別　冊
No. **16**

61　24歳の女性。歯の変色を主訴として来院した。数年前から気になっていたという。検査の結果、生活歯の漂白をオフィスブリーチで行うこととした。漂白操作過程の一部の口腔内写真(**別冊**No. **17A**、**B**、**C**)を別に示す。

Cで用いた薬剤について正しいのはどれか。**2つ選べ**。

a　光照射する。

b　吸引によって除去する。

c　塗布厚さを7～8mmとする。

d　歯面を強く擦るように塗布する。

e　歯面を水分で濡らした後に塗布する。

別　冊

No. **17**　**A**、**B**、**C**

62　閉塞性睡眠時無呼吸症において、睡眠中に舌根が沈下すると生じるのはどれか。1つ選べ。

a　覚醒反応

b　心拍数の減少

c　横隔膜の活動停止

d　鼻呼吸流量の増加

e　血中酸素飽和度の上昇

63　9歳の女児。前歯の歯並びが悪いことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **18A**)とエックス線画像(**別冊**No. **18B**)を別に示す。

第一期治療として適切なのはどれか。1つ選べ。

a　C| の抜歯

b　|C の抜歯

c　|4 の抜歯

d　2|2 の補綴処置

e　上顎右側臼歯の遠心移動

別　冊
No. **18**　**A**、**B**

64　41 歳の女性。上顎左側前歯と小臼歯部の審美不良を主訴として来院した。6 か月前から気付いていたがそのままにしていたという。角化歯肉の幅は上顎左側犬歯において 1 mm 程度である。歯周基本治療後の再評価時の口腔内写真(**別冊**No. **19 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **19 B**)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇　側*	3	2	3	3	2	3	3	2	③
歯　種	⌊2			⌊3			⌊4		
口蓋側*	3	2	3	3	2	3	3	2	3
動揺度**	0			0			0		

*　：プロービング深さ(mm)

○印：プロービング時の出血

**　：Miller の判定基準

適切な治療法はどれか。1 つ選べ。

a　結合組織移植術

b　歯肉剝離掻爬術

c　遊離歯肉移植術

d　両側乳頭弁移動術

e　歯肉弁根尖側移動術

別　冊
No. **19　A、B**

65 口腔機能低下症の診断のために、口腔清掃状態不良の検査に用いる指標はどれか。1つ選べ。

a PlI〈plaque index〉

b OHI〈oral hygiene index〉

c PCR〈plaque control record〉

d PHP〈patient hygiene performance〉

e TCI〈tongue coating index〉

66 ガドリニウム造影剤の使用に際し、最も注意すべきなのはどれか。1つ選べ。

a 高血圧

b 腎障害

c 糖尿病

d 間質性肺炎

e 甲状腺疾患

67　75歳の男性。下顎左側臼歯部の疼痛を主訴として来院した。3か月前に自覚し、徐々に増悪してきたという。10年前に人工弁置換術を受けており、5年前から血液透析を受けているという。ワルファリンカリウムを服用している。診察の結果、下顎左側第一大臼歯の抜去を行うこととした。初診時の腕の写真(**別冊**No. **20A**)とエックス線画像(**別冊**No. **20B**)を別に示す。

適切な対応はどれか。**2つ選べ**。

a　PT-INRの確認

b　透析翌日の抜歯

c　左上腕での血圧測定

d　ワルファリンカリウムの休薬指示

e　抜歯後からのアモキシシリン水和物投与

別　冊
No. **20　A、B**

68　4歳の女児。上顎右側乳臼歯部の激しい疼痛を主訴として来院した。3か月前にD|のコンポジットレジンの脱離に気付いていたが、症状がないためそのままにしていたところ、昨晩から痛みが続いているという。D|に打診痛を認める。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **21A**)とエックス線画像(**別冊**No. **21B**)を別に示す。

適切な処置はどれか。1つ選べ。

a　コンポジットレジン修復

b　生活歯髄切断

c　抜　髄

d　感染根管治療

e　抜　歯

別　冊
No. **21　A、B**

69 永久歯列期の正中離開の原因として考えられるのはどれか。**3 つ選べ**。

a　咬爪癖

b　正中埋伏過剰歯

c　側切歯の矮小化

d　乳歯列期の空隙歯列

e　第二小臼歯の先天欠如

70 顎下部の疼痛を主訴とする患者のエックス線画像(**別冊**No. **22 A**、**B**)を別に示す。
追加する画像検査と目的の組合せで正しいのはどれか。1 つ選べ。

a　CT ―――――――――― 病変の位置確認

b　PET/CT ―――――――――― 転移性腫瘍の診断

c　超音波検査 ―――――――――― 血流速度の評価

d　唾液腺造影撮影 ―――――――――― 唾液腺機能の診断

e　唾液腺シンチグラフィ ―――――――――― 悪性腫瘍の鑑別

別　冊
No. **22**　**A**、**B**

71 間葉性歯原性腫瘍の由来はどれか。**2 つ選べ**。

a　歯　堤

b　歯小嚢

c　歯乳頭

d　唇溝堤

e　エナメル器

72 歯質と歯冠修復材料の機械的性質を表に示す。

材料	ビッカース硬さ (HV)	弾性係数 (GPa)	曲げ強さ (MPa)	破壊靱性値 (MPa・$m^{1/2}$)
ア	68～70	12～19	125～270	N. D.
イ	580～600	90～100	360～440	2.5～3.0
ウ	1,250～1,275	200～250	1,110～1,272	5.8～7.7
エ	64～148	9.6～18.0	170～240	N. D.
オ	270～366	40～90	80～90	0.8～0.9

N. D. ：計測値なし

ウはどれか。1つ選べ。

ただし、ア～オはａ～ｅのいずれかに該当する。

a　象牙質

b　エナメル質

c　ジルコニア

d　二ケイ酸リチウム

e　コンポジットレジン

73 早期死体現象はどれか。**2つ選べ**。

a　死　斑

b　腐敗網

c　自家融解

d　死体硬直

e　皮下出血

74　62歳の男性。上顎右側臼歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。2か月前からブラッシング時の出血を自覚していたが、自然に止血するためそのままにしていたところ、昨夜のブラッシング後からの出血が止まらないという。3年前から降圧薬を服用し、3か月前から全身倦怠感を自覚している。体温37.5℃、脈拍100/分、血圧130/88 mmHgであった。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **23**)を別に示す。血液検査の結果を表に示す。

白血球数	:1,400/μL
白血球分画	
好中球	:24%
単球	: 2 %
リンパ球	:72%
赤血球数	:245万/μL
網赤血球	:0.4%(基準値0.5～2.0%)
ヘモグロビン	:9.8 g/dL
ヘマトクリット	:22.1%
血小板数	:7.7万/μL
MCV	:92 fL(基準値80～100 fL)
MCH	:29 pg(基準値27～31 pg)
MCHC	:32%(基準値30～35%)
AST	:42 U/L
ALT	:40 U/L
PT	:11秒(基準値10～12秒)
APTT	:34.4秒(基準値24～39秒)
血漿フィブリノゲン	:288 mg/dL(基準値200～400 mg/dL)
CRP	:1.08 mg/dL
血清FDP	: 4 μg/mL(基準値15 μg/mL未満)
Dダイマー	:0.8 μg/mL(基準値1.0 μg/mL未満)
血清鉄	:120 μg/dL(基準値70～160 μg/dL)
ビタミン B_{12}	:320 pg/mL(基準値180～914 pg/mL)

考えられるのはどれか。1つ選べ。

a　再生不良性貧血

b　von Willebrand病

c　血小板減少性紫斑病

d　発熱性好中球減少症

e　播種性血管内凝固症候群

別　冊

No. **23**

75　費用対効果の最も高い齲蝕予防法はどれか。1つ選べ。

a　フッ化物洗口

b　ブラッシング

c　フロッシング

d　フッ化物歯面塗布

e　フッ化物配合歯磨剤の使用

76　右側上顎癌切除後の患者に顎義歯を製作することとした。口腔内写真(**別冊** No. **24**)を別に示す。

顎義歯の製作について正しいのはどれか。**3つ選べ**。

a　栓塞部は充実型とする。

b　右側の咬合を緊密にする。

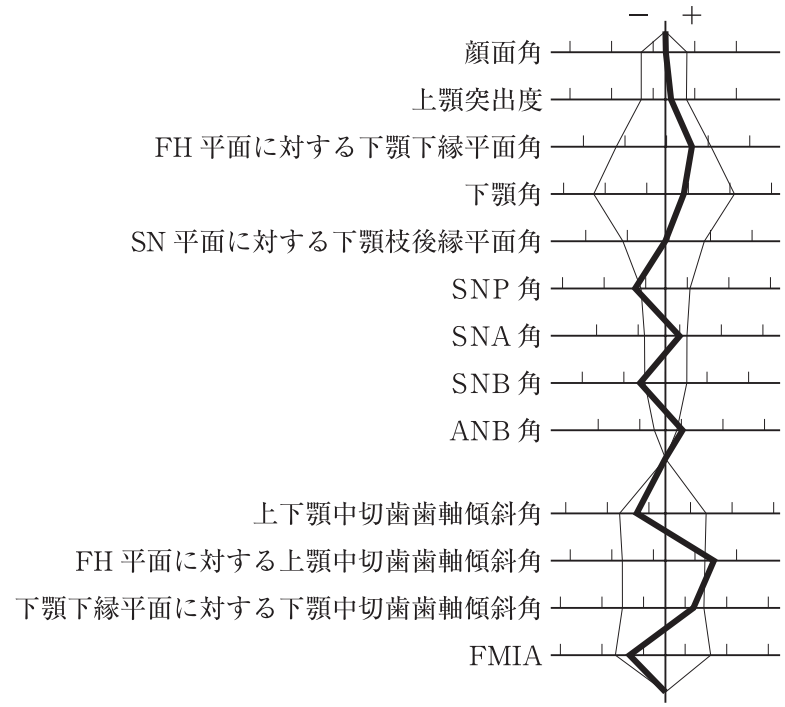
c　残存顎堤と緊密に適合させる。

d　顎欠損側にも人工歯を排列する。

e　欠損腔のアンダーカットを維持に用いる。

別　冊
No. **24**

77　22歳の女性。上顎の歯並びが悪いことを主訴として来院した。診断の結果、抜歯を伴うマルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を行うこととした。初診時の顔面写真(**別冊**No. **25A**)、口腔内写真(**別冊**No. **25B**)及びエックス線画像(**別冊**No. **25C**)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な抜歯部位(智歯を除く)はどれか。1つ選べ。

a　$\frac{2|2}{}$

b　$\frac{4|4}{}$

c　$\frac{5|5}{}$

d　$\frac{4|4}{4|4}$

e　$\frac{5|5}{4|4}$

別　冊
No. **25　A、B、C**

78　80歳の男性。下顎前歯部の動揺を主訴として来院した。5か月前から自覚し、1か月前から動揺が強くなり、前歯で咬みづらくなったがそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **26 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **26 B**)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌　側*	③	3	③	③	③	④	④	③	③	④	③	④	④	③	④	③	3	3
歯　種	$\overline{3\rfloor}$			$\overline{2\rfloor}$			$\overline{1\rfloor}$			$\lceil\overline{1}$			$\lceil\overline{2}$			$\lceil\overline{3}$		
唇　側*	③	3	3	③	3	④	④	3	③	③	③	④	④	③	③	3	3	4
動揺度**	0			1			1			2			2			1		

*　：プロービング深さ(mm)

○印：プロービング時の出血

**　：Millerの判定基準

適切な対応はどれか。**3つ選べ**。

a　咬合調整

b　暫間固定

c　口腔清掃指導

d　オーラルスクリーンの使用

e　局所薬物配送システム〈LDDS〉

別　冊
No. **26　A、B**

79　24歳の女性。乳歯の残存を主訴として来院した。中学生のころから自覚し、矯正歯科治療を希望した際に精査を勧められたという。歯肉に異常所見はない。初診時のエックス線画像(**別冊**No. **27A**)とCT(**別冊**No. **27B**)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

a　大理石骨病

b　骨形成線維腫

c　線維性異形成症

d　慢性硬化性骨髄炎

e　セメント質骨性異形成症

別　冊
No. **27　A、B**

80　石膏の硬化が遅延するのはどれか。**2つ選べ**。

a　混水比の低下

b　冷水による練和

c　練和時間の短縮

d　スラリー液の使用

e　2%塩化ナトリウム水溶液の使用

81　10歳の女児。上顎左側第一大臼歯の摂食時の違和感を主訴として来院した。1か月前から自覚していたが、痛みがないためそのままにしていたという。誘発痛はなく歯髄電気診に生活反応を示した。検査の結果、従来型グラスアイオノマーセメント修復を行うこととした。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **28 A**)とエックス線画像(**別冊**No. **28 B**)を別に示す。

窩洞形態で正しいのはどれか。1つ選べ。

a　起始点の付与

b　咬頭隆線の保存

c　窩底部凹凸の整理

d　アンダーカットの付与

e　ラウンドベベルの付与

別　冊
No. **28**　**A**、**B**

82　Gracey型キュレットの操作法で正しいのはどれか。**2つ選べ**。

a　ハンドルを執筆状に把持する。

b　歯根面へのフェイスの接触角を30度にする。

c　第1シャンクと歯軸のなす角度を70度にする。

d　ポケット挿入時はフェイスと歯根面のなす角度を小さくする。

e　カッティングエッジ中央部を歯根面に適合してストロークする。

83　診断用ワックスアップが役立つのはどれか。**すべて選べ**。

a　治療計画の立案

b　支台歯の動揺度の確認

c　最終補綴装置の色調の模索

d　患者とのコミュニケーションの円滑化

e　プロビジョナルレストレーションの製作

84　76 歳の女性。義歯の維持安定不良を主訴として来院した。診察の結果、全部床義歯を新製することとした。ある術式の過程の一部の写真（**別冊**No. **29**）を別に示す。この術式で決定されるのはどれか。**2 つ選べ**。

a　舌房の範囲

b　水平的顎間関係

c　義歯床後縁の位置

d　義歯床研磨面の形態

e　前歯部人工歯の形態

別　冊
No. **29**

85　定型発達児の情動で、「心配」が出現する時期に分化するのはどれか。**2 つ選べ**。

a　愛　情

b　怒　り

c　失　望

d　嫉　妬

e　不満足

86　47 歳の女性。上顎左側側切歯の欠損による審美不良を主訴として来院した。診察の結果、ブリッジによる補綴処置を行うこととした。完成したブリッジの写真（**別冊**No. **30A**）、装着直前に行ったある操作の写真（**別冊**No. **30B**）及びブリッジ装着後の口腔内写真（**別冊**No. **30C**）を別に示す。

Bの操作直後にブリッジに対して行うのはどれか。1つ選べ。

a　研　磨

b　咬合調整

c　隣接面接触調整

d　リン酸エッチング

e　メタルプライマーの塗布

別　冊
No. **30**　**A**、**B**、**C**

87　CT（**別冊**No. **31**）を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

a　静脈石

b　扁桃結石

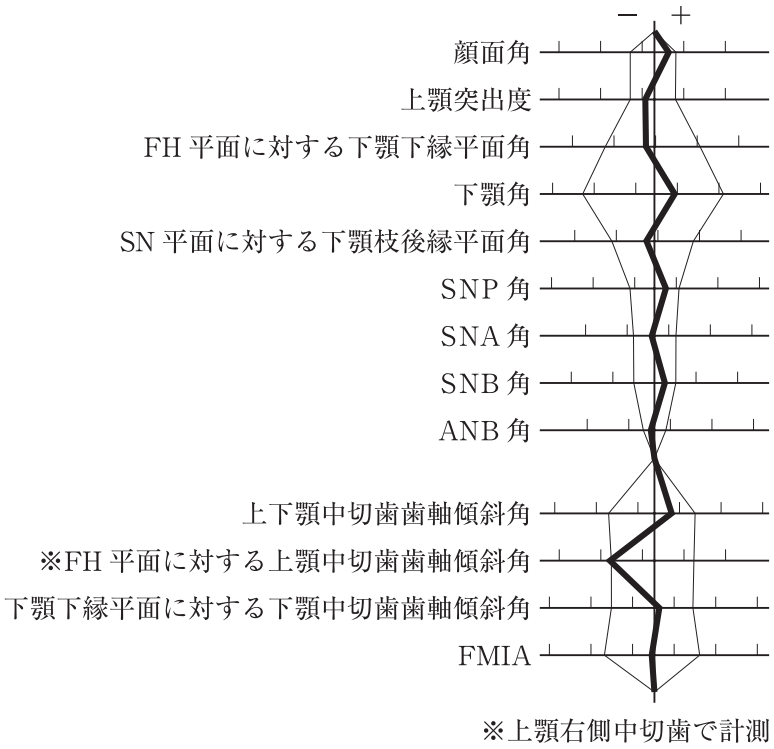
c　顎下腺管内唾石

d　茎状突起の過長

e　頸動脈の石灰化

別　冊
No. **31**

88　7歳の男児。前歯の歯並びが悪いことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(**別冊**No. **32A**)、下顎後退位の口腔内写真(**別冊**No. **32B**)及びエックス線画像(**別冊**No. **32C**)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な対応はどれか。**3つ選べ**。

a　咬合挙上板の装着

b　リンガルアーチの装着

c　上顎左側過剰歯の抜去

d　上顎前方牽引装置の装着

e　上顎右側埋伏過剰歯の抜去

別　冊

No. **32**　**A**、**B**、**C**

89　バーアタッチメントを用いた可撤性インプラント上部構造を製作することとした。口腔内写真(**別冊**No. **33**)を別に示す。

オープントレー法の印象操作を実施の順番に並べよ。

解答：①→②→③→④→⑤→印象体の撤去

a　トレーの圧接

b　ヒーリングアバットメントの除去

c　印象用コーピング同士のレジンでの連結

d　印象用コーピング固定用スクリューの除去

e　インプラント体への印象用コーピングの固定

別　冊

No. **33**

90 ある地域において、肺癌の死亡率(10万人年あたり)が喫煙者で20、非喫煙者で11であった。

この地域の肺癌死亡に対する喫煙の寄与危険度(10万人年あたり)を求めよ。

ただし、小数点以下第2位の数値が得られた場合は四捨五入すること。

解答：[①].[②]

①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9